

## 2021年4月の中学校教書改訂による英語の指導内容の変化

### ●例えば文法は…

中学校で新たに習うことになった内容 (高校からおりてきた内容)	今まで習っていたが削減された内容
現在完了進行形 原形不定詞 仮定法	特になし

今まで中学校で習っていた内容のいくつかを小学校で習い始めたことに伴って、もともと高校で習っていた3つの大きな単元が、中学校に下りてきています。しかし追加こそされ、削減されたり、先送りになった内容は、一切ありません。

### ●例えば進度は… ※下記は一例であり教科書ごとに異なります

これまで	中1	これから
be 動詞の文	Unit.1	be 動詞の文 一般動詞の文 can
be 動詞の文	Unit.2	be 動詞の文 一般動詞の文 can
一般動詞の文	Unit.3	複数形・疑問詞 動名詞・不定詞

これまでの英語は、中学校から学習がスタートしていたのに加え、文法理解に重点が置かれていたので、一つ一つの文法事項をゆっくり、そして、しっかり定着させていくスタイルでした。ところがこれからは小学校での学習が前提になっているのでペースが速く、その上、文法よりも会話や表現重視の内容となっています。

色んな表現を紹介し触れるためか、今まで中2で教わっていた動名詞や不定詞が、中1早々の本文中に予備知識なく突如登場。文法よりも会話重視の現れ!?

### ●例えば単語は…

▼習得することになっている英単語数

	小学校	中学校	高校	合計
これまで	-	1200	1800	3000
これから	600~700	1600~1800	1800~2500	4000~5000

小学校で600~700語を“理解した”という前提で、中学校で新たに1600~1800語を学習します。

新中学1年生は、小学校で既に600~700個の英単語を学習した前提で授業が始まります。しかし我々が調べたところ、実際小学校の英語の授業では、単語をしっかり練習したり、暗記したり、テストでチェックされたりなどは、ほぼ行われていません。“覚えた”“理解した”というよりは、“触れた”というのが現状。なのに、あたかもしっかり分かっているというテイでスタートします。

京都の公立高校入試では、中1から中3までの全ての内申が問われます。

【公立高校(普通科)の入試制度】 3年間の内申 195点 入試当日得点 200点 合計 395点  
私立高校でも大半の学校が、学校内申と当日得点の総合判断によって合否判定しています。

もつとも点が取りやすかった中1の英語が、もつとも点が取りにくい教科になったこと。



**塾通い、学校が動き出す前にさあ今すぐ!**

「定期テスト」と「受験」に地域で一番強い、立志館進学教室へ!!

春の入塾キャンペーン実施中 入塾金が、3月からの入塾で全額免除、4月からの入塾で半額免除になります

新年度授業

3/8月開講

**入塾個別説明会受付中**

お子様の「これから」について話し合う個別相談会。一人ひとり、能力も、目標も、課題も違うのだから、一斉の説明会なんてしません。

お電話またはホームページからお気軽にご予約下さい 説明を聞いてもらって上で、入塾をご検討頂ければ結構です。希望の方には、体験授業や学力診断テストも無料でお受け頂けます。

一人ひとりを大きく伸ばす  
**立志館進学教室**



最新情報を次々更新しています。  
資料請求・体験申込・教育相談も可能です。  
立志館桂坂・高の原  
<https://www.k.riss-co.com/>

桂坂ロータリー北へ200m

**桂坂校** 075335-1110

南陽高校北側

**高の原校** 077471-4114

※どんなことでもお気軽にご相談下さい。職員が丁寧に応対致します。